

# 「桜の樹」 ニュースレター vol 20

岡倉天心記念 がん哲学外来・巣鴨カフェ「桜」 2023.3



## 風の谷がん哲学外来カフェ1周年を迎えて

風の谷カフェ代表 中村純子

2月11日(土)

樋野興夫先生にお越しいただき、風の谷1周年記念講演会を開催いたしました。ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。

風の谷カフェは偶数月の第2土曜日に開催しているので、まだ実質講演会を含め8回の開催に留まっています。会場が市川市のこども園ということもあり、なかなかコロナ禍中でのカフェを開くことが難しく、カフェ活動には十分な配慮が求められました。しかしそんな中でも対面でのカフェを開催して参りました。

がんカフェは、地域に開かれた居場所でもあり、いい意味でも悪い意味でもいろいろな方が集まり、アクシデントも起きてきました。しかし、そんな時があるからこそ、がん哲学外来カフェを良く知り学ぶ機会になった。近隣のカフェ団体に足を運び、人と出会い、学びながら、失敗しながらカフェをやってきたように思います。

風の谷カフェはそこにいるだけで癒される、こども園という豊かな場が用意されています。その場に助けられ同じ思いを持つ仲間と共に、自他共に互いが大切な存在としてそこにいて寄り添い、互いに癒し癒されながら空っぽの器を用意して、安心安全な良い時間を過ごしていけることを心がけてきました。

カフェで出会えたすべての人に、そして起きてくる素敵な奇跡に感謝しかありません。

今年4月から代表をつとめる私は、長野の戸隠にある自宅からカフェに通ってまいります。風の谷カフェに来たいと言ってくれる方が一人でもいる限り、(台風が来ても大雪になっても)仲間と共にカフェを楽しんで続けていけたらと思っております。

1年間風の谷カフェを支えて下さり、ありがとうございました。

そしてこれからも、風の谷のカフェをよろしく願いいたします。



## コロナはもう身近に

ミニオン

ちょっと風邪かな。と自分では判断していました。街の医者に行ってみよう。受付で体温を調べたら高めでした。

大きな病院で検査して下さい。すかさず病院でコロナ検査。3時間後に陽性の電話。

ついに自分もやってきたか。

レントゲン。CT検査。間違いなくコロナです。今満床なので入院は無理かもしれませんね。しかし 担当医がコンタクト。部屋が空きました。すぐに入れます。

とてもキレイな個室です。治療は点滴のみ。血管にライン。酸素飽和度の機器。「部屋からはでないで下さい」これが一番辛かった。同じ場所にずーといる。息が苦しくなる。ちょっとは酸素入れたかな。これはわずか。

看護師は完全防備の服装。そしてマスクにはファンが。いろんな看護師が時間で交代していきますが、どんな顔しているのかわからない。こんな時間も11日間でした。

今は健康で楽しい生活をしています。

改めて 平凡な生活が素晴らしいことに感謝です。



ミニオン撮影

ミニオン無事でよかった・・(みんなの声)

はじめまして。

**宮里 すみ子と申します。年齢は75歳です。**

大阪と京都の中間地点、大阪府高槻市に住んでいます。山本ひろみさんとは、インスタグラムを通じてお知り合いになりました。

不確かな SNS の中に、こんなにも確かな気持ちの通じ合い、友情があるのかと思わせてくれた人です。それから5年近く多くのフォロワーさんと友情を築かせていただき、インスタグラムは今では私の生きる為の大きな柱となっています。

そんな私が今、こうしてここに文章を書かせていただいています。とても不思議な気持ちがあります。「癌」を得たこともそうですが、見知らぬ方々の目に触れる文章を書くという、未知なるものに出会ったことをとても不思議な気持ちでいます。桜も咲こうかと思える春のような今日の好天がその気持ちを強めています。

昨年末あたりからお腹の張り痛み、背中への痛み、体重の異常減少が気になり、CT検査を受けました。「膵臓と肝臓に影が見られます。大病院で検査を受けて下さい」。思えば「癌」は昨年の夏から症状を現していました。昨年の夏、かかりつけ医で糖尿病が見つかりました。一か月後の受診で「いきなりの糖尿病はお腹に出来物が出来ているせいかもしれません。CT検査を受けに行きますか、コロナが収まってからにしますか？」と言われ、その程度ならと返事もせぬまま年を越しました。体重減少も糖尿病対策で食生活、運動を頑張った成果だと思っていました。

その結果が「膵臓癌ステージ4、肝臓への二か所の転移、手術不可」でした。すぐに検査を受けなかったことを悔やみましたが、癌かも知れないと思った時も、しっかりと宣告をされた今も落ち着いております。それは家族の愛と周りの皆様の愛を身に染みて感じられるからなのだと感じています。癌患者超初心者の私です。ひろみちゃん、このような機会を有難うございました。いよいよ抗がん剤治療が始まりました。



塩入公園 さくら撮影 河津桜の花言葉 思いを託します

## 心に響く言葉

風ちゃん

日々教訓になるような格言を聞いて、その日一日の精神の糧とするのはとてもよいことだと新戸部稲造氏は言っています。新戸部氏著書の武士道的一日一言という本には365日毎日違う作者の格言が書かれています。

私が最近読んで心に残った格言を紹介したいと思います。

1月19日 一筋の光

何もあてにしていなかったのに、ふと心を吹き抜けるさわやかな風。真っ暗闇なのに、どこかの隙間から差ししてくる一筋の光。四方八方から私を責める声でいっぱいなのに、私に同情してくれるかすかな声。それはいったい何だろう？どこからやってくるのかは分からないが、私の心に届けようとしていることはまちがいない。人生、失望などしている場合ではない。

この格言を読んで暗闇の中の一筋の光が、私にも見えるだろうか考えさせられるとともに、何かに支えられているだろう人生を前向きに生きなければと背中をおされる気持ちになりました。

## 編集後記

さくら

河津桜が咲きだし、今年も桜の季節到来です。コロナ禍参加できない方もおられるため、紙面上でもカフェをと始めた「桜の樹」ニューズレター、今回は大阪から宮里すみ子さん、すーみんが参加して下さいました。ありがとうございます。Vol 20になり、常連になって下さる寄稿者の皆さんもでき、その記事を励みに思っただけだったり、新しい出会いと感じて下さる方からの感想もいただけるようになりました。皆さんののおかげで続けてこられたことに感謝申し上げます。

そして、風の谷1周年おめでとうございます。中村さんは、引っ越し後もカフェを継続して下さいということ、安心しました。ありがとうございます。

桜の季節は、これからが本番。皆さんの原稿やお写真もお待ちしています。どうぞよろしく願いいたします。

編集：岡倉天心記念 がん哲学外来・巣鴨カフェ「桜」 山本 ひろみ

[gantetu\\_sakura@yahoo.co.jp](mailto:gantetu_sakura@yahoo.co.jp)

<https://sugamo-sakura.com/>

後援：一般社団法人がん哲学外来